

晋騎兵參軍王子猷 裁称此君

唐太子賓客白楽天 愛為吾友

篤茂

(日本古典文学全集『和漢朗詠集』菅野禮行校注・訳)

〔三句目「西府與東籬」の「東籬」について〕

この語は、典拠とする作品を以下に引く。

〔飲酒一五〕 陶潜

結廬在人境 而無車馬喧 廬を結んで人境に在り、而も車馬の喧しき無し

問君何能爾 心遠地自偏 君に問ふ何ぞ能く爾るやと、心遠ければ地自ら偏なり

采菊東籬下 悠然見南山 菊を東籬の下に采り 悠然として南山を見る

山氣日夕佳 飛鳥相與還 山氣日夕に佳く 飛鳥相与に還る

此中有眞味 欲辨已忘言 此の中に眞味有り 弁ぜんと言ふれば已に言を忘る

(漢詩大系5『古詩源下』星川清孝著)(傍線筆者)

〔十五・十七句目「長者好漁竿」「短者宜書簡」の表現について〕